第4版（2020/07/15）

茅ヶ崎市向けGISを用いたデジタルサイネージシステム開発プロジェクト

プロジェクト憲章

A08班

1. プロジェクト名

茅ヶ崎市向けGISを用いたデジタルサイネージシステム開発プロジェクト

1. プロジェクトの背景

茅ヶ崎市が公表している、第2次茅ヶ崎市食育推進計画基本目標４「地域の食文化や食材を活用したまちづくり」主要課題（３）地産地消の推進より、地産地消を推進するために、市内観光農園や農産物直売所の案内図（茅産茅消マップ）を電子化し、さらなる利用の促進を図りますと記載されている。今回の企画は、デジタルサイネージを使用することで、駅構内や市役所に設置することにより市内外の人が、地産地消に対する理解が深まると感じたのでこの企画を提案した。

1. プロジェクトの目的

　各店舗で地場産品の情報を発信することで、地場産品の市民への関心を高めること、地産地消への興味を持ってもらうこと、地産地消を行ってもらうことが目的である。

1. プロジェクトの目標

デジタルサイネージやGIS等の地図を用いて茅ヶ崎産の食材を販売している店、調理して提供している店を可視化する。

1. プロジェクトの成功基準

システムの完成を目指し、実際に動かし茅ヶ崎産の食材を販売している店、調理している店をGIS、デジタルサイネージなどを用いての可視化。エンドユーザー側からwebページで閲覧できるようにする。システムを完成させ、12月12日のプロジェクト発表会までに納入するのが本プロジェクトの成功基準となる。

1. ハイレベルの要求事項

本プロジェクトのシステムにおける、GIS等の地図を用いて茅ヶ崎産の食材を販売している店舗に対し、流通ルートをトレーサビリティを使用し可視化を図る。

1. 前提条件と制約条件

＜前提条件＞

本プロジェクトは情報提供を前提とし、データ収集は茅産茅消マップは茅ヶ崎市農業推進課から配布されているものを使用する。システム部分については、サーバーは文教大学湘南キャンパスのサーバーを使用し、機材は大学内のパソコンまたはプロジェクトメンバーのパソコンを使用する。Webページ開発で用いる機械はGISはAPIのopen layersで編集し、フロントエンドはhtml、css、javascriptで、バックエンドがphpを使用することを前提条件とする。

＜制約条件＞

クライアントの茅ヶ崎市役所農業水産課を対象とし、納期は12月12月のプロジェクト発表までに納入し、予算は450万の中で制作する。開発メンバーはA08班のプロジェクトメンバーによる開発になる。

1. プロジェクトの記述と境界

本プロジェクトは、クライアントである茅ヶ崎市農業水産課の茅産茅消マップのデータを可視化、GISを用いてWebサイトを開発をプロジェクトの範囲とする。

1. ハイレベルのリスク

作業の遅延：成果物完成に大きな影響を与える。担当教員またはプロジェクトメンバーに相談して解決する。

メンバーの音信不通：成果物に大きな影響を与える。ほかのメンバーから連絡を取り、メンバーが出没しそうなところに赴く

1. プロジェクトのスケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 中間発表 | 〇 | 〇 | 〇 |  |  |  |  |  |  |
| 春学期最終報告 |  |  | 〇 | 〇 |  |  |  |  |  |
| 秋学期開始 |  |  |  |  | 〇 | 〇 |  |  |  |
| 最終報告 |  |  |  |  |  | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |

1. 要約予算

予算：614.5万

週間当たりの予算計算式

10000\*3.5+5000\*5\*3.5=12.5万円

12.5\*49=614.5

1. ステークホルダー

クライアント：茅ヶ崎市農業水産課

エンドユーザー：農業者・市民

担当教員：松本先生

制作メンバー

　並木　士　　　b8p31068@bunkyo.ac.jp プロジェクトマネジャー

　遠藤　孝太朗　b8p31010@bunkyo.ac.jp

　佐藤　主翼　　b8p31040@bunkyo.ac.jp

　関本　真仁　　b8p31049@bunkyo.ac.jp

　高野　雅治　　b8p31051@bunkyo.ac.jp

　田中　詩織　　b8p31057@bunkyo.ac.jp

1. プロジェクト承認要求事項

＜プロジェクトの成功基準＞

納期である2020年12月12日までに本プロジェクトを完成させることが成功基準とする

1. プロジェクトマネジャーの責任と権限

プロジェクトマネジャーはb8p31010　並木士が担当し、本プロジェクトの指揮を執る権限を持つ

1. プロジェクト憲章を認可する人物

松本先生：08グループ担当教員